

COMPANY PROFILE

CLEARIZE



(株)クリアライズは、
Astemoリヴァール茨城の
ホームゲームスポンサーです。



<https://www.clearize.co.jp/>

株式会社クリアライズ

営業拠点

■ 本社／総務

〒312-0034 茨城県ひたちなか市堀口 832番地2
TEL：029-276-9802

■ ひたちなか営業所

〒312-0034 茨城県ひたちなか市堀口 832番地2
TEL：029-276-5740

■ 関西営業所

〒651-0084 兵庫県神戸市中央区磯部通1丁目1-20 KOWAビル4階
TEL：050-6883-6800

■ 東京営業所

〒101-0044 東京都千代田区鍛冶町2丁目10-11
イマジクスビル4階
TEL：03-3258-7595

■ 豊田営業所

〒471-0034 愛知県豊田市小坂本町1丁目13-11
富士火災豊田ビル04D号室
TEL：0565-41-6702

ANALYSIS MEASUREMENT RESEARCH

分析のプロフェッショナルとして お客様の様々な課題に立ち向います

高度な技術と新鋭機器を駆使して、
経験豊かなスタッフが品質向上・生産管理をお手伝いします。

Identity

私たちのアイデンティティ

CLEARIZE (クリアライズ) の使命は、
分析・測定・調査を通し、
地域のモノづくり現場や製造現場において、
お客様が抱える課題や研究に、
確かな分析技術で応えること。

MISSION

果たすべき役割

分析のプロフェッショナルとして
お客様の様々な課題を解決し
社会に安心をもたらす

VALUES

大切にしている価値

公正・率先・
顧客本位・チームワーク

VISION

これからのあるべき姿

自由な発想で新たな価値を

Spirit

私たちのスピリット

CLEAR

解決 課題を明確にし、解決

ANALYZE

分析 分析・計測による検証

RISE

上昇 持続的に成長できる「強い企業」

CLEARIZE
クリアライズ



Energy

風力
太陽光
原子力
(放射線)

Electronics

パワー半導体
半導体デバイス
ディスプレイ
デバイス

Automotive

自動車
水素
電池

Industrial equipment

空調機冷凍機
建機

Life science

シックハウス
製品含有化学物質
生分解性材料

Chemical

セラミック
ゴム
プラスチック
触媒

Biomedical

医薬
医療

Top Message

社長あいさつ

クリアライズの目標は、
お客様が必要とするサービスを提供するだけでなく、
常に先を見据えて未来を切り拓くことです。



代表取締役 関根 善久

(株)クリアライズは、2020年3月に日立グループから独立して
早3年が経ちました。この間、お客様のご支援によって一歩一歩、
前進することができました。

近年、環境・エネルギー問題や地政学リスク、急速なIoT技術の
進展など、分析試験サービスへの要求は大きく変化しています。
クリアライズでは、これらテクノロジーの進化や市場の変化に
柔軟に対応するため、2022年に新事業推進センターを立ち上げ
ました。そこでは、アカデミックな知見を活かした技術革新を進め
ています。

当社は、専門知識と経験を備えたエキスパートから構成されて
います。私たちはお客様の成功を共有することを使命とし、協力
関係を築くことを大切にしています。

私たちは50年以上にわたり培ってきた「技術水準」と「信頼
性」を大切にしながら、新たな世代への変革を続けており、常に

進化し続けるため、社会のニーズと技術の進歩を見極め、柔軟に
対応してまいります。

また、当社では、既成概念にとらわれず、社内構造や分析試験
技術にサステイナブルな改革を推進してまいります。私たちの目標
は、お客様が必要とするサービスを提供するだけでなく、常に先を
見据えて未来を切り拓くことです。

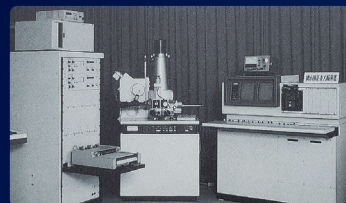
引き続き、高いオペレーション技術を駆使し、お客様の期待に
応えるため努力し続けます。皆様が求める価値を実現するため
に、最善を尽くしてまいります。

今後も皆様からのご支援とご指導をいただけますよう、心より
お願い申し上げます。

沿革 History

1970

- 日協産業株式会社
水質分析、大気測定業務開始
- 株式会社日立製作所日立工場検査部から、分析機械試験の技術移管を受け、分析センターを発足
- 走査型電子顕微鏡微小部X線分析業務を開始



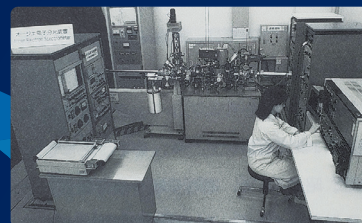
走査型電子顕微鏡 微小部X線分析

1980

- 株式会社日立製作所日立研究所から、表面分析/形態観察/構造解析分析サービスの一部を移管

1990

- 株式会社日立製作所日立研究所から、摩耗研究グループの業務移管
- 日立マテリアルエンジニアリング株式会社と合併し、日立協和エンジニアリング株式会社に社名変更



オージェ電子分光分析装置

2000

- ダイオキシン、環境ホルモン、PCBトランスオイル各RoHS規制物質、土壌汚染対策法、アスベスト等関連分析試験の対応
- 電気分解による水処理装置 (Eleca) の研究開発開始



ダイオキシン分析室('00年当時)

2010

- 日立協和エンジニアリング株式会社を含むグループ4社が合併。
株式会社日立パワーソリューションズ発足、その一部門となる。



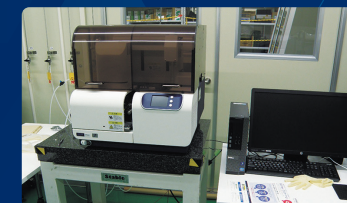
走査透過電子顕微鏡



ICP質量分析装置

2020

- 3月
株式会社日立パワーソリューションズの受託分析サービス事業を会社分割により承継し、株式会社クリアライズ営業開始



リアルビューTG-DTA

2021

- 7月
豊田営業所開設
公式YouTubeチャンネル開設

CLEARIZE

2022

1月 展示会出展

第14回
オートモーティブ
ワールド



4月

新事業開発センター設立

10月 展示会出展

第1回
名古屋グリーン
ファクトリーEXPO



ガス腐食試験装置



電子線後方散乱
回折(EBSD)検出
器付コールドFE
電子銃搭載型高
分解能走査電子
顕微鏡(SEM)

2023

1月 展示会出展

第15回
オートモーティブワールド



4月

タイ・バンコク事務所開設

8月 展示会出展

THAI WATER EXPO

2024

9月

伯東(株)が全株式取得
完全子会社化

2025

1月

関西営業所開設

会社概要

Corporate Outline

社名	株式会社クリアライズ
所在地	〒312-0034 茨城県ひたちなか市堀口832番地2
事業開始	2020年3月1日
代表者	代表取締役 関根 善久
資本金	5,000万円
従業員数	144名(2024年4月現在)
事業内容	(1)機器分析、構造解析、材料調査及び試験評価、計測エンジニアリング、化学分析、土壌分析、ガス分析、プラント水質分析、放射能測定、並びに新規分析評価法開発等に係る役務を提供する事業 (2)前号に関連する市場及び技術の調査 (3)水処理装置の製造販売、水処理システムに関するコンサルティング及びエンジニアリングの事業 (4)労働者派遣事業 (5)前各号に附帯又は関連する一切の事業

分析、材料評価試験、化学応用解析の 各分野に技術・サービスを提供。 お客様や社会の幅広いニーズにお応えします。

私たちの分析サービス

Analysis Service

1

材料・物性

- 化学分析
- 金属組織観察
- 極微量元素分析
- 形態観察
- 表面分析
- 構造解析
- 組成分析
- 熱分析
- 不具合原因調査

2

評価・試験

- 腐食・防食
- 耐摩耗評価
- 疲労強度評価
- 残留応力評価
- 材料試作
- 強度評価
- アンモニア
関連試験
- 電気化学試験

CLEARIZE

生活・環境

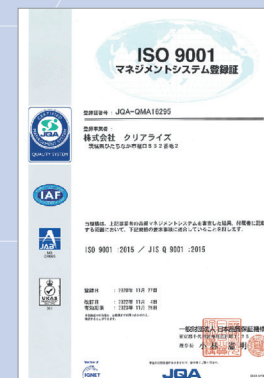
3

- 放射能分析
- 製品含有化学物質調査・分析
- 環境に関わる調査・対策
- 水質・大気分析

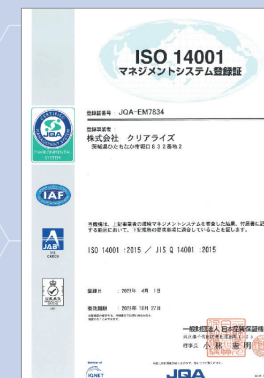
化学分析・物性評価・構造分析・機械試験・腐食試験・非破壊測定など、
さまざまな分野でご利用いただけます。

品質・環境活動

ISO認証を取得し、品質の向上、環境負荷の低減に努めています。



ISO 9001認証取得



ISO 14001認証取得

環境技術製品

クリアライズでは、環境技術装置として廃水中の有機物やアンモニア性窒素を電気分解のチカラで分解・低減する装置（Eleca）の販売を行っています。お客様の廃水に関する課題解決をElecaが支援します。



Eleca



Eleca mini

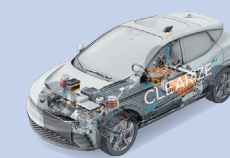
クリアライズのESG取組方針

項目	課題・目標	貢献するSDGs
環境	■受託分析事業を通じたクリーンエネルギー普及促進、カーボンニュートラル推進 (中期経営計画最終年度23/6期までに電池(二次電池・燃料電池)開発関連業務及びクリーンエネルギー(原子力・風力・太陽光・水力・地熱・バイオマス)関連業務の受注合計9億円/年を実現) ■受託分析事業に係るCO₂排出量削減 (2030年までに売上1億円あたりCO₂排出量を2020年比50%削減) ■受託分析事業に係る廃棄物排出量の抑制、再資源化 (2030年までに売上1億円あたり廃棄物処分量を2020年比50%削減) ■受託分析事業に使用する化学物質管理 (排出基準値以下の維持)	
社会	■人材の多様性の向上及び 中期的な業容維持・技能承継に向けた人員体制整備 (毎期新卒等採用3名以上) ■離職率の低位抑制 (自己都合による退職者数:退職者中10%以下) ■顧客満足の向上 (NPS(ネットプロモーターズスコア)の継続的改善)	
ガバナンス	■事業継続計画(BCP)の高度化 (災害等の有事における顧客や従業員への被害最小化) ■コンプライアンス遵守徹底 (コンプライアンス違反:0件)	

先端領域へのチャレンジ

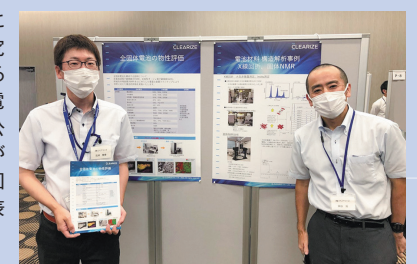
燃料電池、二次電池などの進化に伴う分析技術開発

テクニカルアドバイザー2名を招き、最先端の知見と技術を習得。



全固体電池実用化研究会

全固体電池の社会実装に向けた企業連携による研究推進と人材育成に貢献することを目的とした全固体電池実用化研究会(大阪公立大学様2021年設立)が主催する2022年度第1回セミナーでのポスター発表に参加。



「知の拠点あいち重点研究プロジェクトⅣ期」へ参画

2022年度愛知県の(公財)科学技術交流財団に採択されました「全固体フッ化物電池の開発とその評価技術の標準化」をテーマに名古屋大学様を研究リーダーとして、当社はNMR分析による評価技術の標準化を目標にプロジェクトへ参画しています。